

令和7年度 農林水産物直売所実態調査結果の概要

本調査は、県内の農林水産物直売所の活動実態を把握することを目的として、令和7年11月に実施したものです。調査時点は、令和7年3月31日(令和6年度末)現在です。

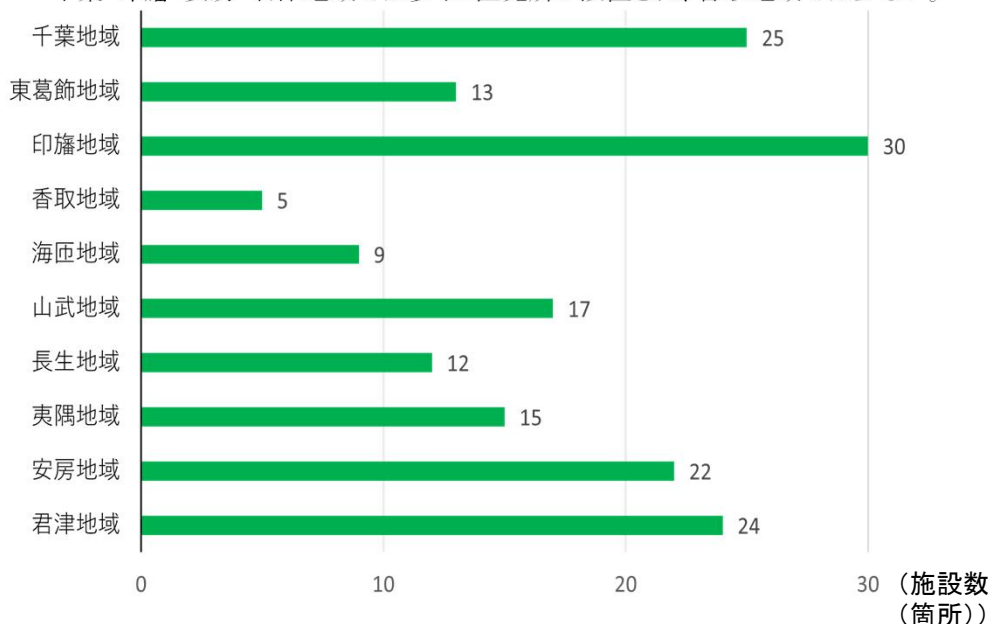
1. 施設数、売り場面積、年間購入者数、年間販売額の状況

県内には約200の直売所が運営されており、令和7年度調査(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)での年間販売額は、回答を得た172施設で約289億円にのぼり、1箇所当たりの年間販売額は、約1億7千3百万円となった。

調査年度	施設数 (箇所)	売り場面積 (㎡)	年間購入者数 (千人)	年間販売額 (百万円)
令和7年度	172	47,968 (回答数 171)	19,380 (回答数 169)	28,908 (回答数 167)
1箇所当たり	—	280.5	114.7	173.1

2. 地域別設置状況(回答数172)

千葉・印旛・安房・君津地域では多くの直売所が設置され、香取地域では少ない。



調査対象

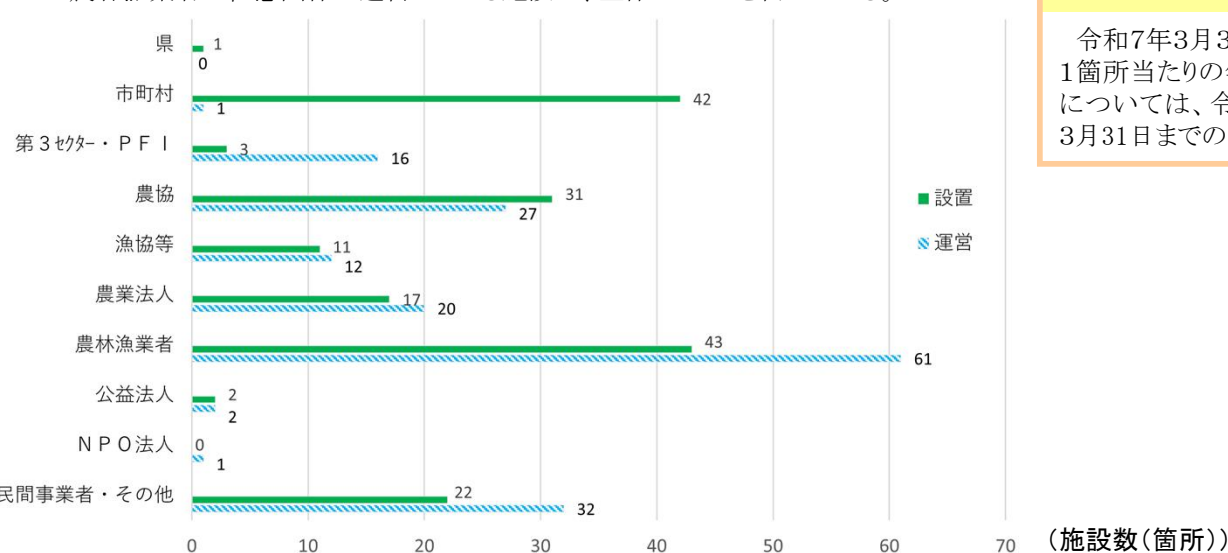
農林水産物を消費者に直接対面で販売する有人施設で、次のいずれにも該当する施設
 ア 県、市町村、公益法人、第3セクター、PFI、農協・漁協等、農業法人、NPO法人、3戸以上の生産者が設置又は運営している施設(民間事業者が運営する場合、役員の半数以上が農林漁業者であること)
 イ 建物があり、常設・通年営業(土日のみ営業を含む。)の施設

調査時点

令和7年3月31日(令和6年度末)
 1箇所当たりの年間購入者数及び年間販売額については、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの実績

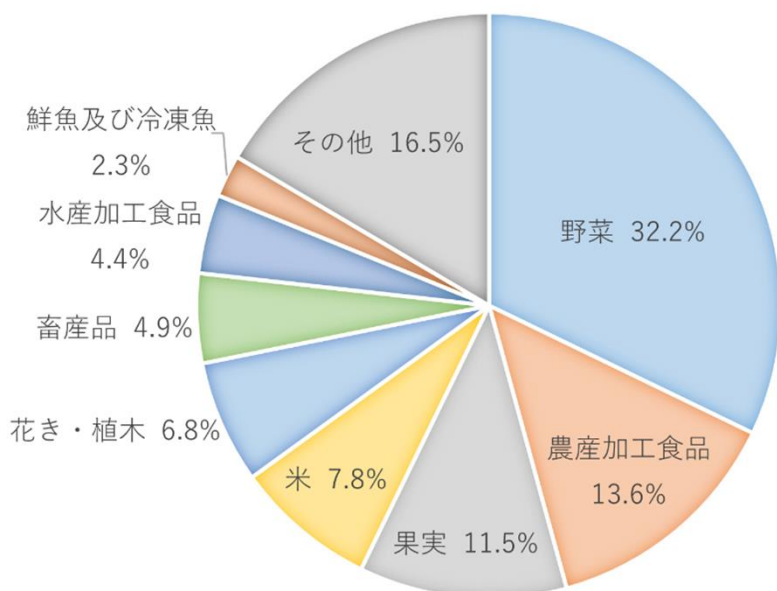
3. 設置・運営主体(回答数172)

農林漁業者の任意団体で運営している施設が、全体の35.5%を占めている。



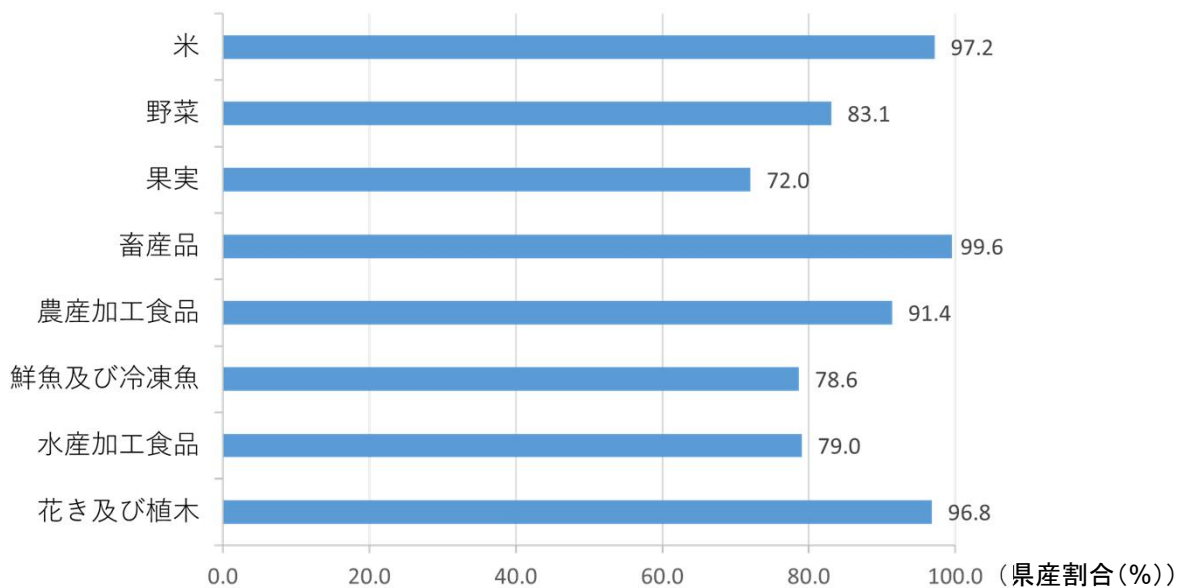
4. 販売額の品目別割合(回答数165)

直売所の総販売額の32.2%を野菜が、13.6%を農産加工食品が占めている。



5. 品目別の県産品割合(回答数172)

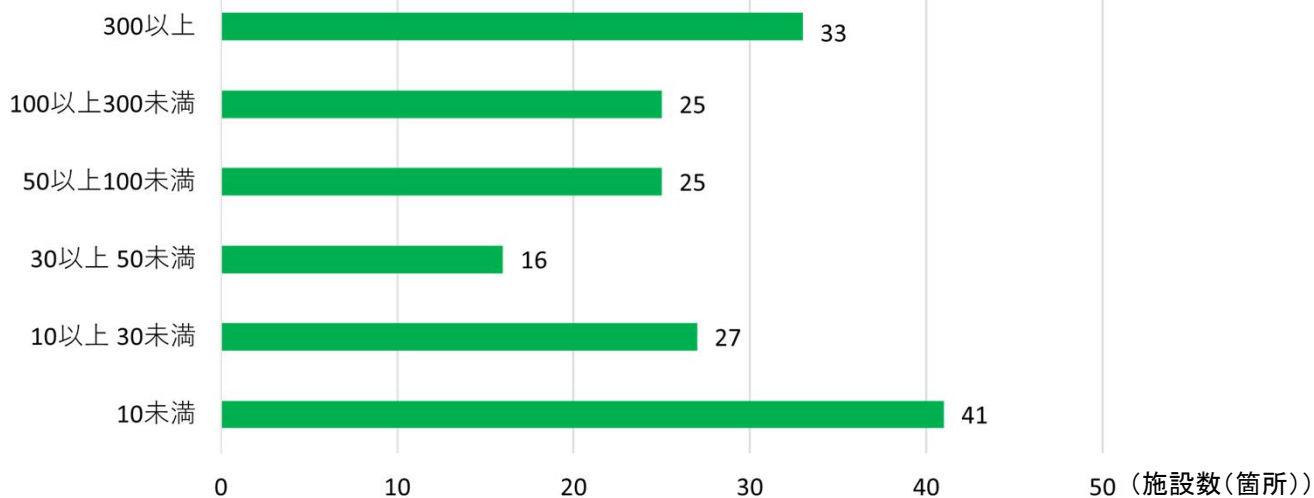
直売所で販売する県産品の割合は、全体の94.0%を占めている。



6. 年間販売額別の施設数(回答数167)

1箇所当たりの年間販売額は1千万円未満の直売所から3億円を超える直売所まで幅広い。

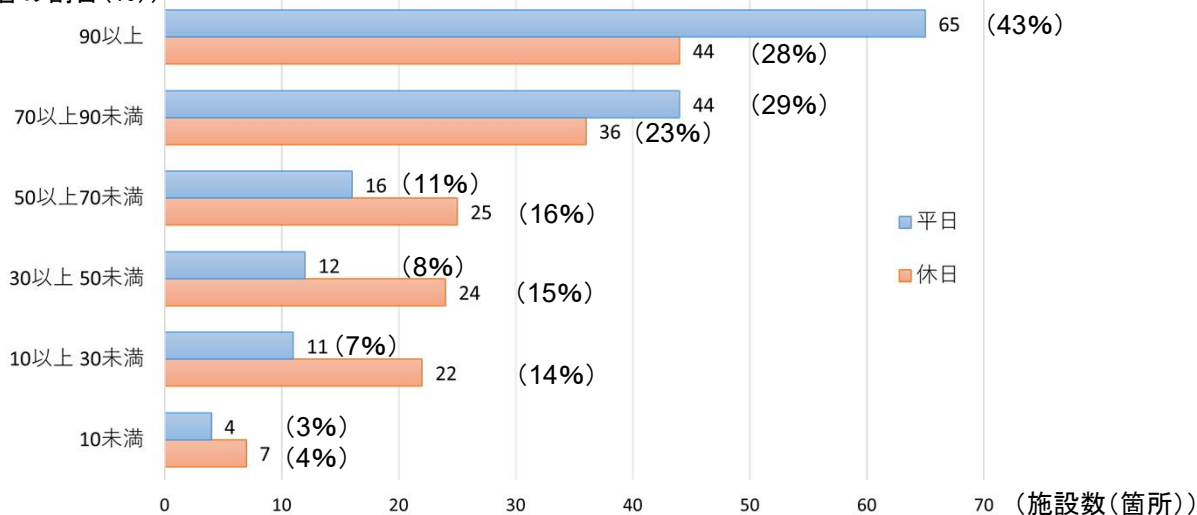
(販売額(百万円))



7. 利用客を占める地元客の割合(回答数152(平日)・158(休日))

90%以上の利用客が地元客である直売所は平日65箇所、休日44箇所と最も多い。

(地元客の割合(%))

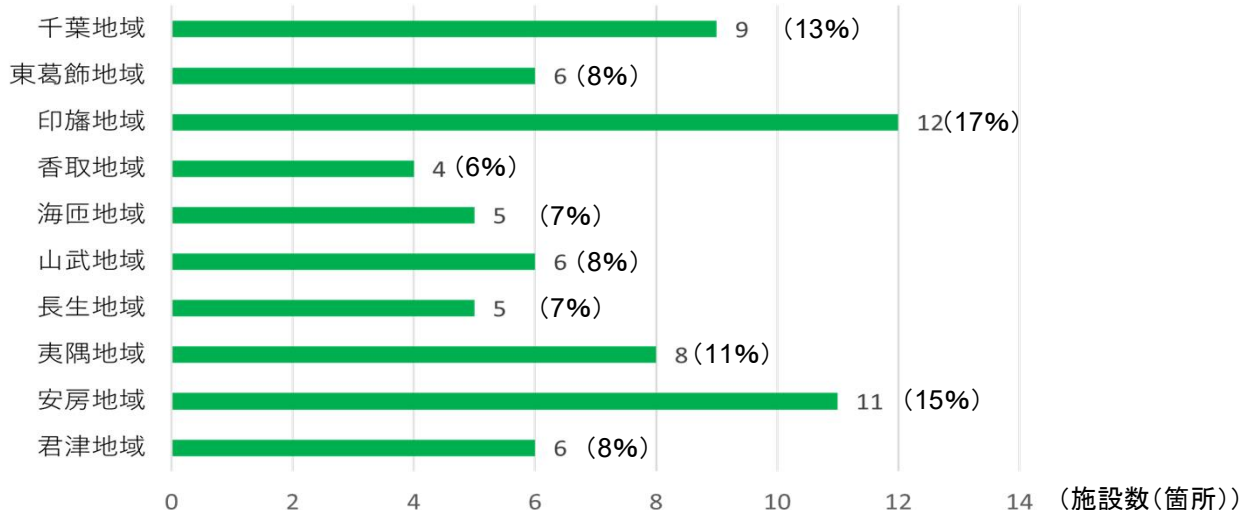


8. ちばエコ農産物*取扱直売所数(回答数72)

ちばエコ農産物は、72箇所(回答施設の41.9%)で取り扱われている。

* ちばエコ農産物:化学合成農薬と化学肥料を通常の半分以下に減らして栽培された農産物

(取扱いのある72施設中の割合(%))



【参考】施設数、平均年間購入者数、平均年間販売額の推移

直売所の施設数は近年減少傾向である。また、1箇所当たりの年間購入者数及び年間販売額は多少の増減が見られるものの、全体としては緩やかな増加傾向にある。

